



対流

Heart to Heart

2017.01

つくる人、はこぶ人、たべる人。農山漁村に住む人、都市に住む人。自分の居場所や立場を越えて人と人、人と自然のあらたなかかわりは顔の見える交流 (Face to Face) から心が響きあう対流 (Heart to Heart) へ。



2017年1月13日発行 特定非営利活動法人 有機農業認証協会
〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1丁目23-19
TEL: 06-6330-0823 FAX: 06-6330-0735
MAIL: yuukinin@apricot.ocn.ne.jp HP: <http://yuukinin.org/>

■CONTENTS

1. 巻頭言
2. 事業・活動報告
3. お知らせ
4. お願い
5. イベント情報
6. 今後の予定

1. 巻頭言

理事長 中塚 華奈

2017年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、有機農業認証協会の事業へのご理解とご協力を賜り、有機 JAS の運用と有機農産物の流通拡大促進にご尽力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

時がたつのは早いもので、当協会が発足してから今年で19年目を迎えます。この間に有機 JAS 制度がスタート(2001年)、有機農業推進法の制定(2006年)、12月8日を「有機農業の日」に制定(2016年)など、有機農業をとりまく状況は、目まぐるしく変化して参りました。有機農業がアンチ近代農業と揶揄されることもあった逆風の時代から、現在は、地球温暖化防止や生物多様性保全への効果が期待される環境負荷軽減に配慮した農業として、追い風が吹く時代が到来したといえます。

平成29年度の生産局農業環境対策課の予算概要では、自然環境の保全に資する農業生産活動の実施に伴う追加的コストの支援として、有機農業の場合は、10アールあたり8,000円(そば等の雑穀と飼料作物は3,000円)の交

付金が支払われる環境保全型農業直接支払交付金に2,410百万円、生産・実需・消費の連携を促進し、円滑なビジネス環境を整えるオーガニック・エコ農産物安定供給体制構築事業として99百万円などが計上されるようにもなりました。来たる2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会では、「持続可能で環境にやさしい食料を使用する」という方針が示され、平成28年度の補正予算では国際水準 GAP とともに有機 JAS の認証取得拡大に向けた支援も行われ、有機農産物への期待が高まっていることがわかります。

年明け早々、有機農産物等の日本農林規格の改正案や国際規格化を見据えた JAS 制度の見直し方向が提示されました。現在、有機 JAS 制度において審査実務を担っている FAMIC (独立行政法人農林水産消費安全技術センター) が IAF や ILAC といった製品認証機関や試験所等の認定を行う機関の国際組織に加盟することも検討されるようで、国際的に通用する有機 JAS 制度にむかって一步一步すすんでいくようです。インバウンド対策や海外への輸出強化のきらいが目立ちますが、国内における有機 JAS マークを付すことによる事業者の競争力強化と消費者の選択のツールとしての機能

発揮にも期待したいところです。

事業者のみなさまから「選ばれる認定機関」を目指して、本年も引き続き、公正・公平・迅速な検査認証業務を遂行し、有機 JAS 制度の普及啓発についても努めて参りたいと思います。末筆ながら、事業者の皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願いいたします。



(株)I-ne (大阪市中央区)

有機農産物及び加工食品の輸入業者です。有機キヌアパウダー、有機ココア、有機ドライフルーツなどを輸入する予定です。

HP：<http://i-ne.co.jp/>



2. 事業・活動報告

■ 理事会 (11/11)

2016 年度第 4 回の理事会が開催され、前回理事会からの活動・収支報告、総会の日程・内容などについての話し合いが行われました。

■ 判定委員会 (11/14、12/12・26)

新規検査 1 件（有機農産物及び有機加工食品の輸入業者 1 件）、年次調査 33 件（有機農産物の生産行程管理者 11 件、有機加工食品の生産行程管理者 10 件、小分け業者 7 件、輸入業者 5 件）の他に追加ほ場が 4 件でした。

■ 有機 JAS 出張講習会

埼玉(11/16)、山口(11/27)、島根(12/7)、滋賀(12/22)にて開催しました。

■ 新規事業者紹介



大倉ケミテック(株) (大阪市西区)

有機農産物及び加工食品の輸入業者です。有機チアシードなどを輸入する予定です。

HP：<http://www.okura-ct.co.jp/>



3. お知らせ

■ 第 18 回会員総会のご案内

NPO 法人有機農業認証協会の第 18 回会員総会を下記の通り開催します。総会終了後は記念講演として、農林水産省有機行程規格班の長谷亮一氏による、「JAS 規格の改正と今後の JAS 制度の方向」を予定しています。詳細は総会議案書とともに 2 月下旬にご案内いたしますが、ぜひ多くの会員の皆様にご参加いただきたいと思います。

第 18 回会員総会及び記念講演

日時：2017 年 3 月 22 日（水）

会員総会 14 時～15 時

記念講演 15 時～16 時

マッチング交流会 16 時～17 時

終了後懇親会あり（要予約）

会場：大阪研修センター江坂（地下鉄御堂筋線江坂駅下車徒歩 3 分）

■ 資材の適合性判断手順について

昨年の 4 月に「有機農産物の JAS 規格別表等資材の適合性判断基準及び手順書（以下、手順書）」が改訂されたことを受けて、当協会としても資材について従来の確認方法を見直しました。すでに事業者の皆様には 6 月にメール・FAX にてお知らせし、会報 10 月号紙上でも周知をしてきたところですが、非常に重要な事項であると同時に今回確認の手順を以下のように一部見直しましたので、再度この紙面にてお知らせいたします。（※有機農産物の生産行程管理者の皆様には別途詳細なお知らせをお送りさせていただいています）

① 初めて使用する資材の確認方法を改定しました。

従来は、その資材が JAS 規格に適合しているかどうかについては、提出された証明書類をもとに事務局で判断し、結果をお知らせしてきましたが、昨年 7 月以降は以下のような手順で確認をお願いしています。

(1) 使用したい資材が決まったらまずその資材名、資材メーカーなどの情報を認証協会に知らせる。



(2) 事務局で確認済みの資材かどうかをチェックし、確認済みであればそれで完了、確認済みでなければ 6 月にお知らせした手順で書類を提出。



(3) 判定委員会で適合性を判断。

② 従来から使用している資材について

従来から使用している資材についても、昨年 7 月以降は年次調査時に原材料の原材料まで適合性を確認するとともに、証明書類の日付が最新であるかどうか併せて確認したうえで判定を行っています。

今年 6 月までですべての事業者の使用する資材についての情報が最新のものに更新される予定ですので、今年の 7 月以降は基本的に同じ資材であれば、原材料と製造工程に何も変更がないことが確認できる書類（様式については当協会でご用意します）を提出していただくだけであります。

■法令改正に伴う規程類の改定は 3 月末までに！！

こちらと同じく昨年 6 月 22 日付のメール・FAX でお知らせしたところですが、6 月 1 日付で公示された JAS 法施行規則の改正に伴い、すべての事業者の皆様へ内部規程・格付規程の改定をお願いしています。

改定の期限は 2017 年 5 月 31 日となっていますが、12 月末時点で改定を完了したのは全体の半分ほどです。そこで改めて改定期限を 3 月末としますので、是非とも規程類を改定するとともに変更届の提出をお願いいたします。

改定のポイントを表にしましたので、これを参考にして作成してください。

規程の種類	改訂事項	改定の内容
内部規程	生産行程管理、小分け管理、輸入品の受入れ保管及び包装に関する記録の保存期間	生産・製造・小分け・輸入した有機食品の消費期限・賞味期限に対応した保存期間とする ※消費期限・賞味期限の定めのないものの場合、生鮮野菜は 1 年以上、大豆、玄米、麦類、荒茶等は 3 年以上
格付（表示）規程	格付（表示）に係る記録の保存期間	同上
	出荷後に JAS 規格不適合と判明した場合の対応の規定の義務化	出荷先に対して不適合であった旨の通知をすること、適切に格付の表示を除去または抹消することについての措置を明記

■JAS 規格が改正されました

一昨年より見直しのための検討が行われてきた JAS 規格の改正が農林物資規格調査会において議決されました。

有機農産物の JAS 規格で従来と変わるのは、「泥炭」が育苗用土以外に果樹への施用が認められたこと、別表 1 で油かす類が単独の項目となり工業用の油かすも使用できるようになったこと、別表 4 の薬剤に忌避剤として「ゼラニウム抽出物」、「シトロネラ抽出物」が追加されたこと（加工食品も同じ）、別表 5 の「エチレン」の使用対象にキウイとアボカドが追加されたこと、長芋の変色防止に「ミツロウ」が使用できるようになったことなどです。

有機加工食品の JAS 規格では別表 1 の添加物にある「炭酸水素ナトリウム」が果実の加工品にも使用できるようになったこと、「レシチン」の種類に「ヒマワリレシチン」が追加されたことなどがあります。

詳細は下記のリンクより農林水産省のサイトでご確認ください。

<http://www.maff.go.jp/j/jas/kaigi/sokai/161226a.html>



4. お願い

■年次調査書類の速やかな提出にご協力ください

年次確認調査書類の提出が、全体に遅れ気味になる傾向があります。事務局としては、前年の調査日を基準に、2ヶ月ほど前に書類提出のお知らせをしていますが、結果的に前年調査日から1年を超えてしまうケースが少なくありません。前年調査日の1か月前をめどに書類を作成・提出していただきますようご協力をお願いします。



5. イベント情報

オーガニックに関連したイベントを3つ紹介いたします。オーガニックを生産、販売、啓蒙している様々なパワーあふれる人達の集まるイベントに参加してみませんか。

■シンポジウム

「食と農 オーガニックの新時代」

*概要 小売店や飲食店、学校給食の取り組みなど、有機農産物が生み出す新たな商品や利用法の創出を図るための先進的な事例の紹介。(講演形式)

*日時 2017/1/23(月) 12:50～16:50

*場所 TKP ガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 (大阪市営地下鉄御堂筋線 心斎橋駅 3番出口 徒歩2分)

*主催 有機農産物需要喚起事業事務局

*参加費 無料(事前登録制)

*内容 講演 1、「学校給食が子ども達の健康な未来を作る」講演 2、「京阪グループのBIOSSTYLE 戦略」講演 3、「専門店から見たみんなのためのオーガニック。みんなで創るHAPPY LINK」講演 4、「国内初！オーガニックレストラン認証 ～飲食店の取組～」

*詳細はこちらで↓

<http://yuuki-organic2016.com/>

東京(1/26) 千葉(2/17) でも開催されます。

★有機農産物需要喚起イベント

～スーパーマーケット・トレードショー～

2017/2/15～17 千葉幕張メッセ

出展事業者募集中！ 詳細は上記リンクで！

「食と農 オーガニックの新時代」ブース内の出展

○参加費無料 1/20㍻切

○お問合せ 090-6514-8263 まで

■第6回オーガニック映画祭

*概要 食に関する映画(5本)の上映、有機農業に関する講演、オーガニックマーケット(野菜、パン、雑貨の販売)、交流会(要予約)(食事つき)

*日時 2017/1/29(日) 9:30～18:15
18:30～20:00(交流会)

*場所 秀明 神崎研修センター(阪急神戸線 神崎川駅より徒歩3分)

*主催 国際有機農業映画祭 in 大阪実行委員会

*参加費 映画当日券→2000円(一般) マーケット→無料 交流会→3000円(大人)

*内容 上映映画 1、「食の未来」映画 2、3、「アフガニスタン用水路が運ぶ恵みと平和(本篇)」、(技術編)映画 4、「カレーライスを一から作る」映画 5、「チャルカ～未来を紡ぐ糸車」講演 「有機農業が目指してきたもの、目指すもの」保田茂氏

*詳細はこちらで↓

http://blog.livedoor.jp/osaka_yuki_eiga/archives/5312269.html

■セミナー

「日本の有機農業、世界のオーガニック(オーガニックリーダー育成プログラム報告会)」

*概要 オーガニック界を代表する3人の女性が世界、特にアジアのオーガニック事情について最新の事例を紹介。

*日時 2017/1/29(日) 15:30～17:30

*場所 あべのハルカス 25F 貸会議室 D (JR天王寺駅 地下鉄天王寺駅 向かい)

*主催 次代の農と食を創る会

*参加費 無料(事前申込制)

*内容 トークセッション式のセミナー

(登壇者) オーガニックテキストスタイル世界基準 地域代表 三好智子、NPO法人日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会(JONA) 岡敬子、株式会社マイファーム 久保亜由美

*詳細はこちらで↓

<http://algoaosaka.peatix.com/>



6. 今後の予定

- ◆ 2月6日(月): 判定委員会
- ◆ 2月8日(水): 理事会
- ◆ 2月27日(月): 検査員研修会
- ◆ 3月22日(水): 総会